

## は　じ　め　に

ここに『国際交流基金日本語教育紀要』第11号をお届けします。

本紀要には、国際交流基金の日本語教育事業に携わる国内の日本語教育専門員、海外の日本語専門家等が日々の教育・研究活動の中で取り組んできた問題や課題をまとめ、「研究論文」（研究の目的・課題・方法が明示され、データの分析・考察を踏まえて課題への解答が理論的・実証的に述べられた独創性のある論文）、「研究ノート」（研究の目的・課題・方法が明示され、研究論文へと発展する可能性のある中間的論考）、「実践報告」（教育実践、教材開発等の目的、特徴、経過、成果、有用性等が具体的かつ明示的に述べられた報告）、「報告」（当基金の事業や海外の日本語教育関係機関の実践・視察に関する記録・報告）として執筆したものの中から、編集委員会による厳正な審査のもと、掲載論文を決定いたしました。

当基金といたしましては、読者の皆様から忌憚のないご意見やご感想をいただけましたら幸甚に存じます。

本紀要が、当基金の日本語教育事業をより深くご理解いただく一助となることを願っています。

2015年（平成27年）3月  
独立行政法人国際交流基金